

# 出向く営農レポート

## イチゴ栽培農家を訪問しました



北部営農センター 長久手地区担当  
大脇 進

長久手地区のイチゴ農家である與語芳樹さんと「すまいるベリーズ長久手」柴田竜伺さんを訪問しました。昨年9月に苗を定植し、順調に生育しはじめた11月上旬、イチゴ栽培で重要となるハダニを防除するため「バンカーシート」※1の設置に立ち会いました。

2軒とも化学農薬を少しでも減らすため、また農薬散布回数を減らし省力化を図るために生物農薬を使用しています。また、與語さんは、昨年度「UV-B」※2という設備を導入して病気を減らす工夫もしています。

12月の中旬、栽培指導をしている肥料メーカーに同行してすまいるベリーズ長久手さんを訪問し、生育状況の確認を行いました。

ハダニの発生状況と対応策、生育に対して電照の照射時間、花房や花弁の整理、液肥の供給量などを確認しました。

2月はイチゴが最も甘くなる時期です。どちらの農家も店頭に並ぶ果実、または収穫体験を楽しみにしている利用者のために、大切にイチゴを育てています。

※1 バンカーシート：作物を食害するハダニを餌とするダニで、天敵農薬とも呼ばれる。

※2 UV-B：夜間、紫外光を作物に照射することにより病気を防除する設備。



バンカーシートを設置する與語さん



生育中の圃場内(すまいるベリーズさん圃場)



肥料メーカーの方に話を聞く柴田さん(中央)